

みずほCustomer Desk Report 2017/12/08号(As of 2017/12/07)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD	公示値	112.51
TKY 9:00AM	112.31	1.1805	132.59	1.3386	0.7567		
SYD-NY High	113.16	1.1814	133.28	1.3485	0.7570		
SYD-NY Low	112.22	1.1772	132.49	1.3320	0.7506		
NY 5:00 PM	113.08	1.1773	133.14	1.3474	0.7511		
NY DOW	24,211.48	70.57	日本2年債	-0.1400	0.00bp		
NASDAQ	6,812.84	36.47	日本10年債	0.0500	0.00bp		
S&P	2,636.98	7.71	米国2年債	1.8004	▲0.81bp		
日経平均	22,498.03	320.99	米国5年債	2.1355	1.01bp		
TOPIX	1,786.25	20.83	米国10年債	2.3608	2.14bp		
シカゴ日経先物	22,605	365	独10年債	0.2925	▲0.10bp		
ロンドンFT	7,320.75	▲27.28	英10年債	1.2510	2.30bp		
DAX	13,045.15	46.30	豪10年債	2.5075	0.00bp		
ハンセン指数	28,303.19	78.39	USDJPY 1M Vol	7.73	▲0.23%		
上海総合	3,272.05	▲21.91	USDJPY 3M Vol	8.28	▲0.09%		
NY金	1,253.10	▲13.00	USDJPY 6M Vol	8.68	▲0.10%		
WTI	56.69	0.73	USDJPY 1M 25RR	-0.68	Yen Call Over		
CRB指数	184.47	▲0.25	EURJPY 3M Vol	8.13	0.00%		
ドルインデックス	93.76	0.15	EURJPY 6M Vol	8.63	▲0.10%		

東京	前日に米国がイスラエルの首都をエルサレムとして認定したことを背景に中東の情勢悪化が懸念される中、朝方のドル円は上値の重い推移が続きこの日の安値となる112.22をつけて東京時間は112.31レベルでオープン。前日に大幅下落の動きを見せた日経平均株価がこの日は反発して前日比大幅高で寄り付くと、米金利の上昇も相俟ってリスク回避的に売られたドル円の巻き戻しの動きに仲値にかけて112.50付近まで上昇。お昼頃に行われた黒田日銀総裁による講演では、特段目新しい材料は示されず市場の反応は限定的。引けにかけては、日経平均株価が一段と上げ幅を拡大する動きにドル円も上値を切り上げ112.54まで上昇し、そのまま112.54レベルで海外市場に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は112.54レベルでオープン。翌日に米政府の暫定予算の期限が切れる問題や、雇用統計を控えた様子見ムードの中、ドル円はポジション調整的に若干買われて小幅に上昇し、112.75レベルでNYに渡った。ポンドドルは1.3373レベルでオープン。英11月住宅価格が前月比0.5%上昇(予想:0.2%)し、5ヶ月連続の伸びとなったことを好まし、1.3421まで上昇するも、保守党内で英データEU離脱担当相を推し、クリスマスまでにメイ首相に退陣を迫る動きがあるとの英紙報道や、48時間以内に離脱交渉に向けた方針を合意できない場合は、EUサミットで通商協議入りのゴーサインを探検することは不可能とバルニEU主席交渉官が期限を設定したこと等が重石となり、ポンドドルは反落。1.3320まで下落し、1.3371レベルでNYに渡った。(ロンドントールフリー00531 444 179 山本)
ニューヨーク	特段ドルに関する目立ったニュースが見当たらない中、海外市場でドル買いが強まることからドル円はじり高で推移し、112.80まで戻し、112.75レベルでNYオープン。朝方は新規失業保険申請件数が予想とほぼ一致したことから、ドル円の反応は限定的となり、狭いレンジでの推移が続く。午後に入ると「北アイルランド」とイギリス間のブレグジットの国境の協定合意が数時間内に近づいていると北アイルランドの関係者が話したことが伝わると、円売りが進みドル円は113.16まで上昇。翌日に米雇用統計の発表を控え、そのまま高値圏を維持する。終盤に掛けて下院で22日までの暫定予算案が可決されたことが明らかになるが、ドル円の反応は薄く、113.08レベルでクローズした。この日は税制法案一本化に向けて交渉する上院両院の議員が発表されたが、市場に与えた影響は限定的であった。(下院は両院既に選出済み)一方、ユーロドルは10月鉱工業生産が予想を下回ったこと等から1.1776まで下落し、1.1778レベルでNYオープン。朝方はややドル売りが強まり、1.1801まで戻すものの上値は重く、1.1800手前での狭いレンジでの推移が暫く続く。午後は前述のブレグジットに関するヘッドラインを受け一旦1.1814まで戻すが、その後はユーロドルが下落する展開にユーロドルは上値を切り下げて1.1773まで反落し、1.1773レベルでクローズした。(NY井上)

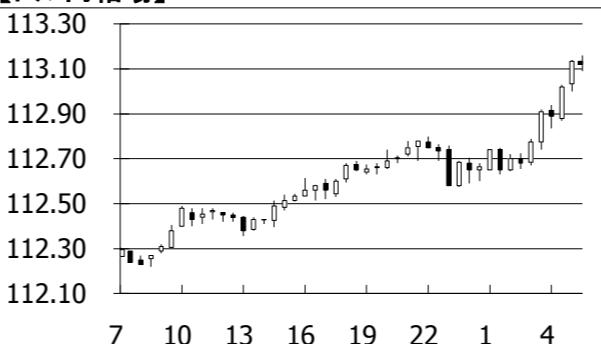
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
12月7日	9:30	豪 貿易収支	10月 A\$105M	A\$1400M
	16:00	独 鉱工業生産(前月比/前年比)	10月 -1.4%/2.7%	0.9%/4.3%
	19:00	欧 GDP(前期比/前年比)・確報	3Q 0.6%/2.6%	0.6%/2.5%
	22:30	米 新規失業保険申請件数	- 236K	240K

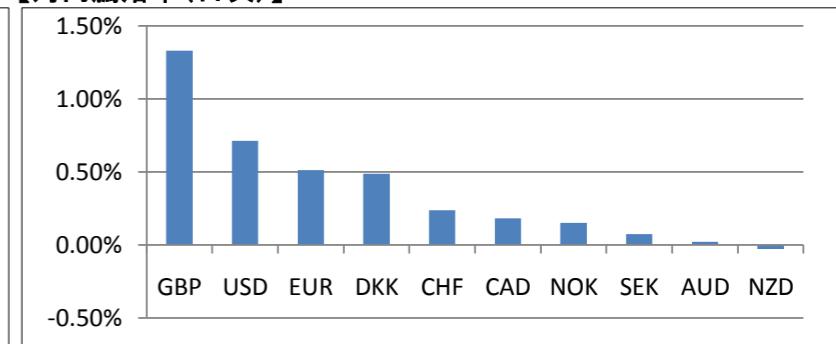
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
12月8日	8:50	日 GDP(前期比/前年比)・確報	3Q 0.4%/1.5%	0.3%/1.4%
	16:00	独 貿易収支/経常収支	10月 21.9B/20.0B	24.1B/25.4B
	18:30	英 鉱工業生産(前月比/前年比)	10月 0.0%/3.5%	0.7%/2.5%
	18:30	英 製造業生産(前月比/前年比)	10月 0.0%/3.8%	0.7%/2.7%
	18:30	英 貿易収支	10月 -£3,000B	-£2,754B
	22:30	米 非農業部門雇用者数変化	11月 195K	261K
	22:30	米 失業率	11月 4.1%	4.1%
	22:30	米 平均時給(前月比/前年比)	11月 0.3%/2.7%	0.0%/2.4%
12月9日	0:00	米 ミシガン大学消費者マインド	11月 99.0	98.5

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	112.50-113.50	1.1720-1.1820	132.40-133.90

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は堅調推移となった。日経平均株価が前日下げ幅を大幅に回復し欧米株も堅調推移となったことや、英国のEU離脱交渉を巡って北アイルランドとの国境問題が協定合意に近づいているとの報道を受けてポンド円が上昇したことなどを背景にドル円は113.16まで堅調推移する展開となった。本日のドル円は上値の重い展開を予想する。昨日のドル円は堅調推移となつたが、足許でドル相場の注目材料とされる税制改革法案や22日まで延期された暫定予算期限問題を巡っては特段ポジティブな進展は見られておらず、先行き不透明感は顕在。ドル円相場が一段と上昇するにはやや材料不足感がある。本日は米11月雇用統計を予定しており、内容次第でドル円は上下方向に振られる展開が予想されるが、足許のトピックが税制改革法案の行方にある中で反応は一時的になると考える。基本的には上値の重い展開を予想する。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧説を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:鶴田・鶴田